

県公社の たより

第24号

発行 神奈川県住宅供給公社

<http://www.kanagawa-jk.or.jp>

学生による団地活性化への取り組み



時の流れはさまざまな物事を変えていきます。団地も日本に誕生したころは「夢の団地」と表現されていましたが、居住年数が長くなればなるほど、ご入居者の年齢は上がり、若者の数が減り、地域コミュニティの活力は減少していきます。

このような状況の中で、「生涯賃貸」をコンセプトとする当公社は、2017年の春に浦賀団地（横須賀市浦上台）にて団地活性化サポーター制度を開始しました。この制度は、ご入居者の団地コミュニティへの参画機会を増やすことなどを目的に作られたもので、その最初の担い手となったのは、神奈川県立保健福祉大学の学生4名でした。ヒューマンサービスの実現を目指す同大学の学生らしく、この4名に共通していることは、「地域活動に参加し、人との関わり合いを大切にしたい」という思いです。



▲今年行われた団地コンサートでも、学生たちは企画や司会などで活躍。

2017年の春に浦賀団地の一員となった学生の最初の仕事は、団地の集会所で開催されたコンサートのチラシをご入居者に配付することでした。それから2年、学生たちは主体的な活動ができるまでに成長しています。



学生たちの距離はぐっと近く自然なものになりました。

そんな学生たちによる自主的活動のひとつが、孤食対策として取り組んでいる「どんぶりの会」と呼ばれる食事会です。ある日のメニューは4色丼（左写真）、学生たちが作りました。20名のご入居者が参加し、皆さんおいしいと笑顔で完食。2年の歳月で、ご入居者と



▲団地コミュニティに溶け込む学生（青いTシャツ着用）。

そしてこの春、3名の学生が大学卒業とともに浦賀団地から旅立ち、さらに多くの人々に貢献すべく医療機関へと就職しました。また、新たに4名の学生を加えた団地活性化サポーターの総数は、19名（2019年4月現在）になりました。

学生たちの思いも当公社の思いもまだまだ道半ばではありますが、若いエネルギーは少しずつコミュニティに変化を起こしています。



賃貸住宅ストックを活用し、お客様へ多様な商品を提供します

住宅性能改善住宅 アンレーベ横浜星川

(横浜市保土ヶ谷区桜ヶ丘)



賃貸住宅の建物としての長寿命化を図り、かつ、設備・仕様を改善することによって商品価値を向上させるこ

改善後



とは、限られた経営資源から多様な商品を生み出し、ひいてはお客様に多様な商品を提供するうえで重要であると当社は考えています。そして、この考えを具現化したひとつが、「アンレーベ横浜星川」です。

60年以上前に建てられた「桜ヶ丘共同住宅」に住宅性能改善事業を実施し、外観も内部も写真のように生まれ変わりました。

具体的には、経年に伴う修繕工事などを一歩進め、外断熱化、時代のニーズに即した間取りへの変更により居住性能を向上させ、併せて、建物全体のデザイン性の向上などにも取り組みました。

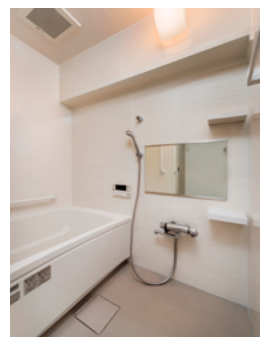
なお、今回の改善工事をご入居者がお住まいのまま実施しました。「桜ヶ丘共同住宅」のご入居者だった皆様のご理解・ご協力に感謝いたします。



白い壁紙にフローリング(杉無垢材)の床、押入はクローゼットに。現代的な内装にフルリノベーションされました。



▲システムキッチン



▲ユニットバス

Kosha 33 は 1 周年を迎えました。

この春で1周年を迎えた多目的スペース Kosha 33。そのスペースのひとつ「ライフデザインラボ」は、みんなでつくるくらしの実験室をコンセプトとして、これまでの1年間でイベントやワークショップを多数開催し、約4,000人の来場者を迎えました。

また、1周年記念のイベントには、たくさんの親子連れにご参加いただきました。こどもたちは、自分の描いた絵がディスプレイの中で動いたり、トートバックに印刷されたりといった仕掛けや、木工作に夢中の様子。今後も「くらしリノベーション」を生み出す場となることなどを目指し、Kosha33を運営してまいります。

Kosha33に関する最新情報は、下記Webサイトをご覧ください。
<https://www.kosha33.com/>

※ 右のQRコードでもアクセスできます。



県公社のたより

第24号 2019年5月17日発行

次回・第25号は
2019年10月発行予定です

バックナンバー(過去発行号)は当会社ホームページからご覧いただけます。
<http://www.kanagawa-jk.or.jp/residents/>

【企画・編集】

神奈川県住宅供給公社

「県公社のたより」担当

〒231-8510 横浜市中区日本大通33番地
☎045(651)1864 FAX045(671)0905
営業時間 平日 8:30~17:30

《E-mail》 tayori@kanagawa-jk.or.jp



1 木工作会場 2 ファミリー向け参加型アトラクション「RICOH 公社オリジナル紙アプリ」
3 子供が描いた絵をその場でトートバックに印刷 4 木工作(椅子)

広告



東京海上日動

〒220-8565 横浜市西区みなとみらい3-6-4(横浜中央支店・金融公務課)
TEL:045-224-3519 FAX:045-224-3520